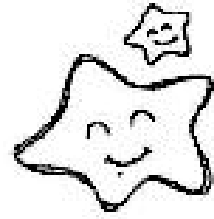


QSK にぬふあぶし

No.327

ね
子の方向の星(北極星)



沖縄県共生社会条例の施行から10年が経ちました

2024年4月1日、「沖縄県障害のある人もない人も共に暮らしやすい社会づくり条例」(共生社会条例)施行から10周年を迎え、那覇市の国際通りにて記念式典とパレードが行なわれました。

パレードには約160人が参加、あらためて私たちの目指すべき「差別や偏見に悩まされず、誰もが暮らしやすい社会」のあり方を考える契機としました。

沖福連の山田会長も式典に出席し、なにごとにも「自己責任」を求められ、孤立と分断とがなお広がる社会の現状について訴えています。

ひとりひとり同じ人のない個性と価値観を持つ県民が、それでも「共に『喜び』を持って生きていくことのできる」社会の実現のため、これからもお互いが支え合って歩いていければと願います。



JR各社、「精神障害者割引制度」を導入へ!

2025年4月から、JRグループの各社で「精神障害者割引制度」が導入されることになりました。従来、身体もしくは知的障がいのある方およびその介助者を対象に提供されていた運賃割引制度が、精神障がい者や介助者もその対象に含まれることとなります。

沖福連でもこれまで、みんなねっとの九州・沖縄ブロック合同の活動として、九州運輸局などへ運賃割引の要望を上げて続けてきました。(※「にぬふあぶし」306号、319号など)

みんなねっとでは、2014年6月の第7回定期総会にて「身体・知的障害者同等に交通運賃割引制度の適用を求める決議」を採択、その後、全国の家族会が力を合わせながら要望活動等に取り組んできました。

私たちの多くにとって、経済的な負担の重さはそのまま精神的な負担の重さにもつながります。今回の負担の軽減によって、全国の精神障がいのある人にとって行動の自由が少しでも広がっていくことを期待しています。

🌸 入院患者に対する地域生活体験事業のご案内 🌸

沖福連では、県からの委託事業として『精神障害者入院患者に対する地域生活体験事業』を実施しています。

精神科に入院中の方が、実際の地域生活を体験することで退院後の暮らしについてイメージづくりを行ったり、中期的に入院している方が地域での暮らしの感覚を忘れないようにしたりすることをサポートしています。

事業は年度更新となっておりますので、昨年度までご利用されていたみなさまも、あらためての申請手続きをどうぞよろしくお願いいたします。

お問い合わせは 098-889-4011 まで



【寄付金／賛助会員加入のお願い】

沖福連では、精神保健福祉に関する知識や考え方の普及啓発、また福祉サービス事業などを通して、誰にとっても生きやすい社会づくりに取り組んでいます。

当会の活動は、みなさまからの賛助会費やご寄付によって支えられています。

今後とも、あたたかいご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

賛助会年会費 個人1口：2千円 / 団体・法人1口：1万円

琉球銀行：南風原支店 普通口座 229887

ゆうちょ：02020-0-37037 (加入者名：公益社団法人沖縄県精神保健福祉会連合会)

※沖福連ホームページからクレジットカード決済もできます。

Carry On ~やればできる~

そうすけ

私は約10年間、『てるしのワークセンター』に通っていました。

20代の頃はてるしのに青春を捧げたと言っても過言ではありません(笑)。

てるしのではパン班と園芸班に所属しました。パン班ではパンを製造し、園芸班ではゴーヤーなどの野菜を育てました。

しかし、通い始めた頃からスムーズに就職に向かったわけではありません。生活リズムが不規則になり、睡眠時間が昼夜逆転になったり、意欲の低下や気分の落ち込みがあり、てるしのに行くことも難しい時期がありました。そんな時期は、パンの作業を1時間だけやってみたり、レクにだけ参加する日もありました。

園芸班に所属してからは、外に出て畑を耕し、野菜を栽培しました。ある日、姉から「就職したら?」と言われて就職することを考えました。就職して仕事が合わなかったら3日で辞めて、てるしのに戻ろうと思いながら、障がい者の合同就職説明会に参加して面接し、後日、採用が決まりました。

合わなかったら3日で辞めようと思っていた仕事は現在5年目に入りました。仕事を辞めようと思ったことは何回もありますが、てるしのワークセンターの支援員の方と仕事の相談をして、今日まで続けられているのでとても感謝です。

障がいを抱えながら就職を目指したり、仕事を続けることもあなた一人ではなく、周りにいる家族や福祉事業所、相談員や職場の仲間を味方につけて、前に進んでいきましょう。

最後に、てるしののあいうえお作文で締めたいと思います。

㊦ をとりあって

(手を取り合って)

㊦ ーきーもよみながら

(Rookieも読みながら)

㊦ ゆうしょくをめざして

(就職を目指して)

㊦ りきろう!

(乗り切ろう!)



いまはお寿司を握る仕事をしています。
休日はカラオケでリフレッシュ。
仕事を長く続けるには、その人なりの息抜きが大切ですね。

「B型グルメフェス」あります！

6.28 (Fri) 10:00~16:00 場所:中村家住宅

コーヒー スイーツ パンを作っているB型事業所が大集合！



主催.. 一般社団法人むら
お問い合わせ.. ワーカーズホーム

(098-955-1692)

「就労継続支援B型事業所」のコーヒー、
紅茶、スイーツ、パンなどが大集合！
*てるしのもちろん参加します!!



B型事業所のみなさまの
出店申込はお早めに!!
(先着優先、最終締切:5/24)

◎編集後記◎

前から「読まねば」と思っていたダニエル・エヴェレットの『ピダハン』をようやく読むことができた。アマゾンの狩猟採集民に関する本である。ピダハンは“いまここ”に生きていて伝聞や想像など、間接的な体験は信じない。自分が直接体験した出来事以外には関心がない。だからまだ体験していない「未来」にも関心がない。明日に備えて食料を取っておくこともしないし、将来を案じたりもしない。未来への悩みや不安を持たない彼らは幸福で、だから神様も必要としていない。BCPだなんだと理由をつけては先の心配ばかりしている私たちは、いつも未来で頭をいっぱいにして、たぶん、だから安心や幸福から遠く隔たっている。(増山)

編集：公益社団法人 沖縄県精神保健福祉会

会長 山田 吾吾

〒901-1104

沖縄県島尻郡南風原町字宮平206-1

電話098-889-4011 FAX098-888-5655

E-mail terushino@castle.ocn.ne.jp

発行：九州障害者定期刊行物協会

〒812-0068

福岡市東区社領1丁目12番4号

電話092-753-9722 FAX092-753-9723

定価：10円(会費に含まれる)